

## 令和2年度 宮崎県ハンドボール協会 審判部活動報告

審判長：岩崎 栄一

### 0. 昨年度（令和2年度）目標

- ・継続登録者数 50 名以上、新規取得者数 20 名以上を目指す  
 ※継続登録者→61 名（全カテゴリーで登録を徹底）  
 ※新規取得者数→11 名 コロナ関係で高校生等への登録を促せず。
- ・各カテゴリーでの審判講習会を行い、B・C級候補者の発掘と意識付けをはかる  
 ※講習会をほとんど開催できず（10月・12月の2回を小規模開催）

### 1. 令和2年度登録者数

A級2名	B級10名 50代5名 (女性1名)	C級23名 今年度申請0名 (女性3名)	D級37名(新規11名) 高校生申請者数(0名) (女性6名)
------	--------------------------	----------------------------	---------------------------------------

#### 【課題】

- ・チームとして上位大会に参加する指導者以外での上級取得者を増やす（現在 B に 3 名含む）
- ・C申請者を増やす→B級への準備を進める  
 ※令和元年度・2年度で九州ブロック大会を4つ控えていたにも関わらず、育成どころかC級の申請すら進んでいなかった現状から、**C級を増やすことは出来たが、相次ぐ大会中止の判断により、地元開催のブロック大会がなくなったことで、貴重な経験機会を失ってしまった（各大会において5～6ペアを準備したが）。今後の全国選抜大会や国体の開催へ向けて、上級受験準備としての遅れが懸念される。**
- ・上級取得へ向けた意識の高揚と人材発掘  
 ※他県に所属しながら審判員としての活躍している情報もある（須志原さん、鈴木さん）  
 大変喜ばしいが、本県としての人材育成で計画的にという繋がりを考える必要がある。

### 2. 県内講習会および各種研修会

昨年度から各カテゴリーや、地区別の講習という形できめ細やかに開催するようになってきたが、今年度はHPによる紙面上の研修、および10月と12月に1時間程度の講習会を都城市と綾町で行うにとどまった。

#### MO・TD研修会

宮崎県では独自にMO・TDに関する担当者を配置（宮崎県 独自設置）。

昨年度は荒木氏が任命されていたが、事情があり宮川氏が後任となった。

昨年度も大きな大会を控えながらなかなか講習会は開催されなかったが、今年度は南九州大会や九州高校選抜大会を控える時期に、宮川氏を中心とした研修会を2回行っていただいた。

毎年開催される南九州大会を良い機会として、毎年実技を含めた研修会をする方向がよいと考えている。

### 3. 全日本大会等審判員

- ・中止

### 4. 九州大会等派遣審判員

- ・九州中学校選抜【宮崎】 中止
- ・九州高校総体 【宮崎】 中止
- ・国体九州ブロック【沖縄】 中止
- ・九州高校選抜 【宮崎】 中止

### 5. 上級審判審査

- ・開催中止 B級2名予定（川野雅・宮本 ペア）

上級取得へ向けた今後の計画と組織・大会運営の見直し（6年後国体を見据えて）

《3年後から全国選抜大会・ジャパンオープン等が続く予定に・・・》

【令和元年度からの県協会としての体制と方向性】

●副審判長制の導入（社会人・高校・中学・小学） 審判長1 副審判長3

※①カテゴリー間の情報共有

②業務の引き継ぎおよび最適化を図る

●MO・TD 研修担当を新設（今年度 荒木氏 → 宮川氏）

※50歳以上の方で上級を取得している方々を中心とした組織運営が理想だと考えている

●大会運営等（別紙参照）

○帯同審判員制度の拡大 および 地区協会毎の審判員名簿作成・研修の実施

・昨年度より 小学カテゴリー に導入 新規D級取得者が増加（外部指導者の意識が高い）

小学カテゴリーからの各カテゴリーの大会協力者が大幅に増加した（保護者含めて）

・令和3年度へ向けて 中学カテゴリー にも導入

専門指導者は多くチーム総数は少ない。大会関係者以外での審判協力が多く、自らの大会で吹かない状況が続き、審判員の普及が成されていない状況があった。

他のカテゴリーへの協力も少ない現状を変えようと取り組んでいる。

（中学カテゴリーの審判員養成）

※これらの移行のためにも、地区協会の協力を得ながら、地区ごとの講習会を実施し、各地区協会から派遣する帯同審判員としての大会協力ができる体制を整えられれば（名簿作成・紹介など）と考えている。

できましたら、各地区協会が主催されるプライベート大会（どのカテゴリでも良い）を開催していただき、その運営に目的を合わせた講習会の実施が望ましいため、検討いただきたい。

令和5年度以降の部活動の在り方を含め、部活動顧問に頼るだけではなく、地域人材の活用を進めながら、外部指導者の育成等も視野に入れ、裾野を維持・拡充するきっかけにしたい。

**※地域で審判員としての活動に興味・関心を抱く人材の確保を目指していきたい**

今後に向けて

私自身の経験の浅さや知り得る知識・機会にも限界が有り、今後上級の申請および取得者を増やし、魅力を伝えていくためにも、外部講師招聘を含めた審判講習会等の充実を図っていききたいと考えております。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。